〔公務等障害共済年金〕

(ア) 基礎年金該当の場合

 $P \mathbb{P}(\mathbf{x},t) = \mathbf{B}(\mathbf{x},t) \times \mathbb{P}$ 年基準乗率× t^{\prime} 月(\mathbf{x},t)×平均給付率(公務等)

P職 $(x,t) = B(x,t) \times 12 \times (0.4 \times \text{平均給付率} (公務等) -0.2) \times 1 / 1.3$

 $+B(x,t)×職域給付乗率(x)(20 年以上)× (t^'](x,t)-300) × 平均給付率(公務等)$

t'控除(x.t)>0のとき

P厚(x,t)+P職(x,t)

控除額(x,t)= (P厚(x,t)+P職(x,t)+基礎年金額:障共(公務等))

×t'控除(x,t)/t^月 (x,t)×割落し率

(注) 基礎年金額:障共(公務等)=定額(基礎年金額)×平均給付率(公務等)

P厚(x,t)= P厚(x,t)× (P厚(x,t)+ P職(x,t)- 控除額(x,t)) / (P厚(x,t)+ Pस(x,t))

P職(x,t)=(P厚(x,t)+P職(x,t)-控除額(x, t))-P厚(x,t)

(P厚(x,t)+P職(x,t)) <最低保障:最低保障:障共1・2級

P職(x,t) = 最低保障:障共 $1 \cdot 2級 - Pp(x,t)$

災害補償との調整額=B(x,t)×12× (0.4×平均給付率 (公務等) -0.2) ×1/1. 3

P職(x,t)<災害補償との調整額の時

P職(x,t)=0

P職(x,t)≧災害補償との調整額の時

P職(x,t)=P職(x,t)-災害補償との調整額

(イ) 基礎年金非該当の場合

 $P厚(x,t) = B(x,t) \times 厚年基準乗率 \times t^{\prime} f(x,t)$

P厚(x,t)<最低保障;障共・厚年のとき

P厚(x,t)=最低保障;障共・厚年

 $P \Re(x,t) = (B(x,t) \times 12 \times 0.2) \times 1 / 1.$ 3

+ {B(x,t)×職域給付乗率(x)(20年以上)× (t^'月(x,t)-300)}

t'控除(x,t)>0のとき

P厚(x,t)+P職(x,t)

控除額(x,t)= (P厚(x,t)+P職(x,t)) ×t'控除(x,t)/t^月(x,t)×割落し率

 $P \c p(x,t) = P \c p(x,t) \times (P \c p(x,t) + P \c p(x,t) - 控除額(x,t)) / (P \c p(x,t) + P \c p(x,t))$

P職(x,t)=(P厚(x,t)+P職(x,t)-控除額(x, t))-P厚(x,t)

(P厚(x,t)+P職(x,t)) <最低保障:最低保障:障共3級のとき

P職(x,t)= 最低保障:障共3級-P厚(x,t)

災害補償との調整額=B(x,t)×12×0.2×1/1.3

P職(x,t)<災害補償との調整額の時

P職(x,t)=0

P職(x,t)≥災害補償との調整額の時

P職(x,t)=P職(x,t)-災害補償との調整額

(ウ) 年金額

P厚(x,t)=基礎年金該当分 P厚(x,t)×障共1・2級の割合(公務等)

+基礎年金非該当分 P厚(x,t)× (1-障共1・2級の割合(公務等))

P職(x,t)=基礎年金該当分 P職(x,t)×障共1・2級の割合(公務等)

+基礎年金非該当分 P職(x,t)× (1-障共1・2級の割合 (公務等))

[公務外障害共済年金]

(ア) 基礎年金該当の場合

 $P厚(x,t)=B(x,t)\times厚年基準乗率\times t^{\prime}P(x,t)\times$ 平均給付率(公務外)

 $P職(x,t) = B(x,t) \times 職域給付乗率(x)(20年以上) \times t^{\prime} J(x,t) \times 平均給付率(公務外)$

t'控除月(x,t)>0のとき

P厚(x,t)+P職(x,t)

控除額 $(x,t)=(P\mathbb{P}(x,t)+P\mathbb{R}(x,t)+$ 基礎年金額: 障共(公務外))

 \times t'控除月 $(x,t)/t^{\beta}(x,t)$ ×割落し率

(注) 基礎年金額:障共(公務外)=定額(基礎年金額)×平均給付率(公務外)

P厚(x,t)= P厚(x,t)× (P厚(x,t)+ P職(x,t)- 控除額(x,t)) / (P厚(x,t)+ Pसो(x,t))

P職(x,t)= (P厚(x,t)+P職(x,t)-控除額(x,t)) - P厚(x,t)

(イ) 基礎年金非該当の場合

 $P厚(x,t) = B(x,t) \times 厚年基準乗率 \times t^{\prime} f(x,t)$

P厚(x,t) < 最低保障; 障共・厚年のとき

P厚(x,t)=最低保障: 障共・厚年

P 職(x,t)=B(x,t)×職域給付乗率(x)(20 年以上)×t^'月(x,t)

t'控除(x,t)>0のとき

P厚(x,t)+P職(x,t)

控除額(x,t)= (P厚(x,t)+P職(x,t)) ×t'控除(x,t)/t^月 (x,t)×割落し率

 $P厚(x,t) = P厚(x,t) \times (P뎯(x,t) + P瞮(x,t) - 控除額(x,t)) / (P뎯(x,t) + P聰(x,t))$

P職(x,t)=(P厚(x,t)+P職(x,t)-控除額(x,t))-P厚(x,t)

(ウ) 年金額

P厚(x,t)=基礎年金該当分 P厚(x,t)×障共1・2級の割合(公務等)

+基礎年金非該当分 P厚(x,t)× (1-障共1・2級の割合 (公務等))

P職(x,t)=基礎年金該当分 P職(x,t)×障共1・2級の割合(公務等)

+基礎年金非該当分 P職(x,t)× (1-障共1・2級の割合(公務等))

〔公務等遺族共済年金〕

(ア) 基礎年金該当の場合

t^月(x,t)<300 のとき

P厚(x,t)=B(x,t)×厚年基準乗率×300×3/4

P職(x,t)=B(x,t)×職域・公務等基準乗率×300

災害補償との調整額=B(x,t)×職域・公務等基準乗率×300

t^月(x.t)≧300 のとき

 $P \mathbb{P}(\mathbf{x},t) = \mathbf{B}(\mathbf{x},t) \times \mathbb{P}$ 年給付乗率(x)×t^'月(x,t)×3/4

 $P職(x,t)=B(x,t)×職域・公務等給付乗率(x)×t^'月(x,t)$

災害補償との調整停止額=B(x,t)×職域・公務等給付乗率(x)×300

t'控除月(x,t)>0 のとき

P厚(x,t)+P職(x,t)

控除額(x,t)=(P厚(x,t)+P職(x,t)+基礎年金額+加給年金額)

 \times t'控除月 $(x,t)/t^{}$ 月 $(x,t)\times$ 割落し率

P厚(x,t)= P厚(x,t)× (P厚(x,t)+ P職(x,t)- 控除額(x,t)) / (P厚(x,t)+ P融(x,t))

P職(x,t)= (P厚(x,t)+P職(x,t)-控除額(x,t)) - P厚(x,t)

(P厚(x,t)+P職(x,t)) <最低保障: 遺共の時

P職(x,t)=最低保障:遺共-P厚(x,t)

P職(x,t)<災害補償との調整額の時

P職(x,t)=0

P職(x,t)≧災害補償との調整額の時

P職(x,t)=P職(x,t)-災害補償との調整額

(イ) 基礎年金非該当の場合

t^月(x,t)<300 のとき

P厚(x,t)=B(x,t)×厚年基準乗率×300×3/4

P職(x,t)=B(x,t)×職域・公務等基準乗率×300

災害補償との調整額=B(x,t)×職域・公務等基準乗率×300

t^月(x,t)≧300 のとき

P厚(x,t)=B(x,t)×厚年給付乗率(x)× t^{\prime} 月(x,t)×3/4

P職 $(x,t) = B(x,t) \times$ 職域・公務等給付乗率 $(x) \times t^{\prime}$ 月(x,t)

災害補償との調整停止額=B(x,t)×職域・公務等給付乗率(x)×300

t'控除月(x,t)>0 のとき

P厚(x,t)+P職(x,t)

控除額(x,t)= (P厚(x,t)+P職(x,t)) ×t'控除月(x,t)/t^月(x,t)×割落し率

 $P \mathbb{P}(x,t) = P \mathbb{P}(x,t) \times (P \mathbb{P}(x,t) + P \mathbb{R}(x,t) - 控除額(x,t)) / (P \mathbb{P}(x,t) + P \mathbb{R}(x,t))$

P職(x,t)= (P厚(x,t)+P職(x,t)-控除額(x,t)) -P厚(x,t)

(P厚(x,t)+P職(x,t)) <最低保障: 遺共の時

P職(x,t)=最低保障:遺共-P厚(x,t)

P職(x,t)<災害補償との調整額の時

P職(x,t)=0

P職(x,t)≥災害補償との調整額の時

P職(x,t)=P職(x,t)-災害補償との調整額

(ウ) 年金額

P厚(x,t)=基礎年金該当分 P厚(x,t)×子あり妻、子の割合(x')

+基礎年金非該当分 P厚(x,t)× (1-子あり妻、子の割合(x'))

P職(x,t)=基礎年金該当分 P職(x,t)×子あり妻、子の割合(x)

+基礎年金非該当分 P職(x,t)× (1-子あり妻、子の割合(x'))

[公務外遺族共済年金]

(ア) 基礎年金該当の場合

t^月(x,t)<300のとき

P厚(x,t)=B(x,t)×厚年基準乗率×300×3/4

P職(x,t)=B(x,t)×職域基準乗率(x)(20年以上)×300×3/4

t^月(x,t)≧300のとき

P厚(x,t)=B(x,t)×厚年給付乗率(x)×t^月(x,t)×3/4

P職(x,t)=B(x,t)×職域給付乗率(x)(20年以上)×t⁷月(x,t)×3/4

t'控除月(x,t)>0のとき

P厚(x,t)+P職(x,t)

控除額(x,t)= $(P \mathbb{P}(x,t) + P \mathbb{H}(x,t) + \mathbb{E}$ 礎年金額+加給年金額) $\times t'$ 控除月 $(x,t) / t^{\beta}(x,t) \times$ 割落し率

P厚(x,t)= P厚(x,t)× (P厚(x,t)+ P職(x,t)-控除額(x,t)) / (P厚(x,t)+ P職(x,t))

P職(x,t) = (P厚(x,t) + Pম(x,t) - 控除額(x,t)) - P厚(x,t)

(イ) 基礎年金非該当の場合

t^月(x,t)<300のとき

P厚(x,t)=B(x,t)×厚年基準乗率×300×3/4

P職(x,t)=B(x,t)×職域基準乗率(x)(20年以上)×300×3/4

t^月(x,t)≧300のとき

P厚(x,t)=B(x,t)×厚年給付乗率(x)× t^{7} (x,t)×3/4

P職(x,t)=B(x,t)×職域給付乗率(x)(20年以上)×t¹/₄(x,t)×3/4

t'控除月(x.t)>0のとき

P 厚(x,t) + P 職(x,t)

控除額(x,t)= (P厚(x,t)+ P職(x,t)) ×t'控除月(x,t)/ $t^$ 月(x,t)×割落し率

P厚(x,t)= P厚(x,t)× (P厚(x,t)+ P職(x,t)- 控除額(x,t)) / (P厚(x,t)+ Pस(x,t))

P職(x,t)= (P厚(x,t)+P職(x,t)-控除額(x,t)) -P厚(x,t)

(ウ) 年金額

P厚(x,t)=基礎年金該当分 $P厚(x,t)\times$ 子あり妻、子の割合(x')

+基礎年金非該当分 P厚(x,t)× (1-子あり妻、子の割合(x'))

P職(x,t)=基礎年金該当分 P職(x,t)×子あり妻、子の割合(x')

+基礎年金非該当分 P職(x,t)× (1-子あり妻、子の割合(x'))

③ 年度末の受給者数: NN(j,x)(j は、年金種別。障害、遺族も含まれる。以下同じ)

NN(j,x)=前年度NN(j,x) - ND(j,x)

=前年度NN(j,x) - 前年度NN(j,x) × (q(x-1)+q(x)) / 2

※ ND(i,x)は、失権による消滅者数。

- ④ 年度末の年金額: PP(j,x) (※ $PP=\Sigma P \times NS$ のこと。以下同じ) PP(j,x)=前年度PP(j,x)-PP消(j,x)+PP改(j,x)+PP改3(j,x)
 - ※ PP消(j,x)は、消滅者の年金額PP消(j,x)=前年度PP(j,x)×ND(j,x)/前年度NN(j,x)
 - ※ PP改(j,x)は、改定年金額

PP改(j,x)=(前年度PP(j,x)-前年度PP従前(j,x))

 \times (1-ND(j,x)/前年度NN(j,x)) ×年金改定率 (合計) (j,x)

さらに、PP従前(j,x)=前年度従前PP(j,x)×(1-ND(j,x)/前年度NN(j,x))

※ PP改3(j,x)は、従前額保障解除による改定額

PP従前(j,x)>PP従新(j,x)のとき

PP改3(j,x)=0

PP従前(j,x)≦PP従新(j,x)のとき

PP改3(j,x)=PP従新(j,x)-PP従前(j,x)

さらに、PP従新(j,x)=前年度PP従新(j,x)× (1-ND(j,x)/前年度NN(j,x))

× (1+年金改定率(合計)(j,x))

- ⑤ 失権者数: · 年金額
 - ③及び④ 参照
- ⑥ 年金給付費: Q(j,x)
 - x<支給開始年齢のとき

Q(j,x)=0

x=支給開始年齢のとき

Q(j,x) = PP(j,x)/2

Q厚 $(j,x)=Q(j,x)\times PP$ 厚(j,x)/(PP厚(j,x)+PP職(j,x)+PP加(j,x))

Q職(j,x)=Q(j,x)×PP職(j,x)/ (PP厚(j,x)+PP職(j,x)+PP加(j,x))

Q職 $(j,x) = Q(j,x) \times PP\ln(j,x) / (PP厚(j,x) + PPസ(j,x) + PPm(j,x))$

x>支給開始年齢のとき

Q(j,x)= (前年度PP(j,x)+PP(j,x)) /2+ (PP改(j,x)+PP改3(j,x)) × 4/12 ※ 4/12は、改定時期補正のための按分率。

Q'厚(j,x)= (前年度 P P P(j,x)+ <math>P PP(j,x)) / 2

+前年度PP厚(j,x)×年金改定率(厚)(j,x)×支給補整率

- ※ 年金改定率(厚)は、賃金上昇率、物価上昇率及び可処分所得割合等を考慮した改定率
- ※ 支給補整率= (前年度NN(j,x)-前年度NN(j,x)) / 前年度NN(j,x)

× (1-ND(j,x)/前年度NN(j,x)) × 4/12

Q'職(j,x)= (前年度PP職(j,x)+PP職(j,x)) / 2

+前年度PP職(j,x)×年金改定率(職)(j,x)×支給補整率

※ 年金改定率 (職) は、賃金上昇率、物価上昇率及び可処分所得割合等を考慮した改定率 Q'加(j,x)= (前年度 P P 加(j,x)+ P P 加(j,x)) / 2

+前年度 P P 加(j,x)×年金改定率 (定) (j,x)×支給補整率

※ 年金改定率(定)は、賃金上昇率、物価上昇率及び可処分所得割合等を考慮した改定率

Q厚 $(j,x) = Q(j,x) \times Q'$ 厚(j,x) / (Q'厚(j,x) + Q'職(j,x) + Q'加(j,x))

Q職 $(j,x) = Q(j,x) \times Q'$ 職(j,x) / (Q'厚(j,x) + Q'т(j,x) + Q'm(j,x))

Q加 $(j,x) = Q(j,x) \times Q'$ 加(j,x) / (Q'厚(j,x) + Q'耽(j,x) + Q'加<math>(j,x))

基礎年金拠出金等の推計

基礎年金拠出金=基礎年金拠出金単価× (第2号被保険者数+第3号被保険者数)

なお、基礎年金拠出金単価、基礎年金交付金、年金保険者拠出金は厚生労働省よりデータを頂いている。

国庫負担の推計

国庫・公経済負担、及び追加費用:Q国(j,x)及びQ追(j,x)

x<支給開始年齢のとき

Q国(j,x)=0

Q追(j,x)=0

x=支給開始年齢のとき

 $Q \boxtimes (j,x) = Q(j,x) \times t \boxtimes (j,x) / t^{(j,x)}$

Q追 $(j,x) = Q(j,x) \times$ 追加費用割合(j,x)

※ t国(j,x)は、国の新法(昭和36年3月以前)期間

※ 追加費用割合(j,x)

= [前年度追加費用割合(j,x)× {前年度PP× (1-ND(j,x)/前年度NN(j,x))

×年金改定率 $}$ +新追加費用割合(j,x)× P P 新(j,x)× (1-ND'(j,x)/NS(j,x))] / P P(j,x)

※ 年金改定率は、賃金上昇率、物価上昇率及び可処分所得割合等を考慮した改定率

さらに、新追加費用割合= Σ (t 前(j,x,t) $/t^{(}j,x,t$) \times NS(j,x,t))/NS(j,x)

× (新PP厚(j,x)+新PP職(j,x))

/ (新PP厚(j,x)+新PP職(j,x)-新PP基礎(j,x))

NS(j,x)=新規裁定者数

新 P P 厚(j,x)、新 P P 職(j,x)、新 P P 基礎(j,x)は、新規裁定者の年金額 N D'(j,x)/N S(j,x)=新規裁定者の失権率 (年度内に新規裁定かつ失権)

x>支給開始年齢のとき

Q国(j,x)=Q(j,x)× (前年度 t 国(j,x)/前年度 t^(j,x)+t 国(j,x)/t^(j,x)) / 2

Q追(j,x)=Q(j,x)×(前年度追加費用割合(j,x)+追加費用割合(j,x))/2

保険料率の設定

〇 有限均衡方式

前提記号

m: 最終保険料率の頭打ち年度(毎年3.54‰ずつ引き上げ、2105年度の積立度合が設定したそれを始めて超える年度)

平成 21 年財政再計算の場合、m=2023

α:運用利回り年4.1%

 $\beta : (1+\alpha) \quad 0.5-1$

n:積立度合

Sk: k 年度までの(給付額+基礎年金拠出金+年金保険者拠出金+事務費) 現価合計

Bk: k 年度までの(追加費用+国庫・公経済負担+基礎年金交付金+公務等給付) 現価合計

Fk: k 年度の積立金

Pk: k 年度の保険料率

bk: k年度までの総報酬額の現価合計

$$P_{\text{fTR}} = \frac{\sum_{k=m}^{2104} (S_k - B_k) - \frac{F_{m-1}}{1+\beta} - \frac{5}{12} P_{m-1} b_m + \frac{1+\alpha}{1+\beta} S_{2105} \times n}{\sum_{k=m}^{2104} (b_k) - \frac{5}{12} b_m}$$